

自己点検・自己評価報告書

平成 31 年 3 月 29 日現在

I S I ランゲージスクール

平成 31 年 3 月 29 日作成

目 次

第 1 設置者及びマネジメント

第 1 設置者及びマネジメント 1

基準 1 理念・教育目標 1

- 1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか 2
- 1-2 教育目標が明確に定められているか 3
- 1-3 学校の将来構想を抱いているか 4
- 1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか 5

基準 2 組織 6

- 2-1 組織体制 7
- 2-2 教員組織 8
- 2-3 事務組織 9
- 2-4 採用と育成 10

基準 3 財務 11

- 3-1 財務状況 12

基準 4 教育環境 13

- 4-1 校地・校舎 14
- 4-2 施設・設備 15

基準 5 安全・危機管理 18

- 5-1 健康・衛生 19
- 5-2 危機管理 20

基準 6 法令の順守等 22

- 6-1 法令の順守 23

第 2 運営に関する事項 24

基準 7 運営全般 24

- 7-1 組織的な運営 25
- 7-2 納付金 27
- 7-3 情報の共有化及び発信 28

基準 8 学生募集 29

- 8-1 募集方針 30
- 8-2 募集活動 31
- 8-3 入学選考 33

基準 9 教育活動 34

- 9-1 教育計画 35
- 9-2 実施 37
- 9-3 成績判定 40
- 9-4 授業評価 41

基準 10 学生支援 42

- 10-1 支援体制 43
- 10-2 日本社会を理解し、適応するための支援 44
- 10-3 生活面における支援 45
- 10-4 進路に関する支援 47
- 10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援 49

基準 1 1 教育成果	51
11-1 成果の判定	52
11-2 卒業生の状況の把握.....	53

第 1 設置者及びマネジメント

基準 1 理念・教育目標

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>●ISI グループの理念 「私たちは、グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献します」</p> <p>●ISI の教育方針 【国際理解を深める教育——国際力】 世界各国の学生との異文化交流で「国際交流」を深め、グローバルに活躍できる人材を育てます。</p> <p>【理解と納得の日本語教育——日本語コミュニケーション力】 目的に合わせ「読む・聞く・書く・話す」の技能と関連付けながら日本語運用能力を総合的に高めます。</p> <p>【社会人としての総合的な力を高める教育——人間力】 社会や企業の中で自立した一人の社会人として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を学びます。</p> <p>●本校の特色は何といても在校生の多様化にある。平成 31 年 3 月 29 日現在、54 か国から約 1340 名の学生を受け入れており、このグローバルな環境を活かして日本語コミュニケーション力の養成を行い、社会に貢献する人材の育成を実現できる点が第一の特色である。</p> <p>●本校の将来構想は、学習者と社会の幅広いニーズに応えるための学校運営をめざし、入口から出口を一貫した理念で経営していく方針である。また大学・大学院・専門学校、企業との連携を深め、より高い次元でのグローバル人材育成教育機関を目指した将来構想を持っている。</p>	<p>●ISI ランゲージスクールの歩み 【第一フェーズ】 2006 年、東京ランゲージスクール本校の経営譲渡を受け、東京では 2 校目となる日本語学校「ISI ランゲージスクール」を移転開校。定員 360 名からのスタートとなった。非適正校の状態を継ぎ、受け入れ学生の国籍改革、学生選抜、コースカリキュラムの見直しを行った。</p> <p>【第二フェーズ】 翌年には適正校通知を受け、多くの学生が入学を希望する学校へ成長。2009 年より定員を 460 名に増員し、受け入れ国籍は 30 か国を超える多国籍化に成功。</p> <p>【第三フェーズ】 2010 年、校舎を高田馬場（現校舎）へ移転し、2011 年定員を 560 名に増員。教育内容も多様なニーズに対応できるよう、選択授業を開始し進学・非進学にも対応する内容に変更。</p> <p>【第四フェーズ】 2014 年定員を 990 名に増員。校舎を増設し、教室には電子黒板等の設備を設置。ICT 教育の取り組みにも挑戦を開始。</p> <p>【第五フェーズ】 2015 年定員を 1346 名に増員。校舎のフロアを増設し、教室のほか、カウンセリングブースや学生用 PC 増設などの対応により教育環境の充実を図った。今回の自己点検・自己評価を実施し、さらなるレベルアップを質・量ともに図れるよう中長期ビジョンを策定している。</p> <p>【第六フェーズ】 2018 年度より本部に「マーケティング統括部」「業務推進部」「教育推進部」が設置され、業務・進路指導の効率化・平準化が推進された。また「学生生活スタートブック 2018」と「進路活動ハンドブック」が在校生に配布開始された。</p>

1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	4	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められている	教育理念・育成人材像がホームページや設置者の企業概要、生徒に配布される冊子にも明記されている。	非常勤講師及び非正規雇用の職員においては理解及び定着が完全ではないので、教職員用ガイドブック配布作成中（2019年度完成予定）	学校案内書 ホームページ 学生生活スタートブック 2018
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	具体的に実現に向けた計画を立案・実施している	2018年度～2020年度の中期ビジョン戦略 MAP で戦略目標・数値目標を達成するための KPI を確立し毎月進捗を確認している	2017年度は教育方針（アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシー）の明文化が完成したが、教育内容の詳細明文化は次年度の課題。	2018年度～2020年度中期計画
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的・行動指針は普遍的なテーマであり、中期戦略において、時代のニーズに合わせた内容になっているか見直しをしている	3年ごとに設定する中期ビジョンを基に戦略 MAP・BSC を作成している	時代のニーズだけでなく、入管法の変更や社会情勢の変化も常に敏感な学校運営が必要。	2018年度～2020年度中期計画
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	3	教職員に周知・公表されている	教職員には学内に会社の理念が記載された額を掲示しており、学外にはホームページで広く公表している。 2018年度配布の学生生活スタートブックにも掲載	非常勤閲覧用スタートブックを教務室に設置しているが、非常勤講師及び非正規雇用の職員においては理解及び定着が不十分で、教職員用ガイドブックを配布予定	会社概要 ホームページ 学生生活スタートブック 2018

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI の理念・目的・育成人材像は職場内にも掲示しているほか、社員証とともに携帯しており職員が就業中も意識できるようになっている。また具体的なアクションのための「行動指針」もカードに記載されており、職員が ISI 理念を意識しながら業務を遂行できるようになっている。	学校運営における大きな方針は今年度明文化し、学生生活スタートブックでその内容を学生にも周知を行うことができた。一方で、非常勤講師を含む全教師に方針や業務プロセスを明確化できていない部分も多く、2019年度に教職員ガイドブック策定を業務推進が作成予定のため、改善できると期待している。

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

阿保 京子

1-2 教育目標が明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	3	進路目的別クラス編成により、進路指導を充実・効率的に進めている。 また、難関大学進学希望者を集めた特進クラスがあり大学受験に特化した指導も展開している。	中級以上は進路目的別のクラス編成になっている。 難関大学進学希望者で構成されている特進クラスを設置。	複数の進路目的の生徒が在籍する混在クラスが每期できてしまう。 クラス編成のやり方の見直しが必要。 特進クラスは開校できない学期がある。	学校案内 ホームページ 学生生活スタートブック 2018

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校は大学院・大学など進学希望者が多いため、本社の教育推進部と連携し進路サポートの充実を目指している。今年導入した『進路目的別クラス編成』は課題もあるものの、進路指導の効率化・教員の負担軽減が実現できた。また、本年度は学生生活スタートブック 2018 の配布で ISI の教育理念が生徒にわかりやすくなった	新校舎開設に伴い 2019 年度に増員を予定しており、進路指導の効率化・平準化が急務である。 特進クラスの学生進路構成が大学院希望者増により課題あり、今後の選抜制クラス編成は改善を検討していく。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	時代・社会の変化に合わせた中期ビジョンを3年ごとに策定している。	学校では3年ごとに中期ビジョン及び戦略MAPを策定し、KPI・個人目標を明確にしている。	近年の留学目的の多様化に伴い、柔軟性に富んだ戦略が課題である。	2018年～2020年度中期計画 新館開校計画

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
中期ビジョンを計画し業務に落とし込んでいても、日本語学校は国際情勢・景気動向・通貨変動などに運営を大きく影響されるため、常に社会情勢について注視しながら、学生募集・学校運営を続けている。法務省や入国管理局も日本語教育機関の整備を始めているため、学籍管理の強化にも取り組んでいる	政府の方針に加えて、昨今の円高傾向及び外国人のインバウンド消費の影響で外国人留学生の数は増え続けており、本校でも2019年度に定員の増員を予定しているが、受け入れ側の課題として「教育の質の維持」「学習者の質の向上」が必須である。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	学校運営方針は教職員に明示され伝わっている。	<p>中期計画が電子保存され職員は閲覧可能になっており、キックオフや決起大会でも共有されている。入学案内やHPにも運営方針が公表されている</p> <p>2018年度配布の学生生活スタートブックにも教育理念が掲載された</p>	<p>本年より年1回だった「教職員全体会議」を2回に増やし、新規採用に非常勤講師にもKPIや事業計画の報告を共有している。</p> <p>非常勤講師は社内共有サーバー等へのアクセスができないため、今後は2019年完成予定の「教職員ガイドブック」で方針の共有と業務プロセスの明確化を推進していく。</p>	2018年－2020年度中期計画 キックオフ・決起大会の資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学校運営方針は教職員にとって業務の指針であり、常に念頭において業務にあたるべきである。また、職員が運営方針を正しく理解することで自然にこの学校で学ぶ留学生にも伝わるはずだと考える。	上述の通り、非常勤講師への方針の徹底とプロセスの明文化が課題であり、次年度の全社重要取組事項となっている。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 2 組織

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校の組織体制は入国管理局及び日本語教育振興協会の基準要件を満たしており、事業規模に応じた組織体制になっている。</p> <p>校長を始め主任教員など教員組織も基準要件を満たした職員を採用・配置しておりそれぞれの職務内容や権限が明確に定められている。</p> <p>教務に関しては、3 グループごとに教務主任の下、授業運営及び新人教師の教育・育成への取り組みを行っている。同時に「業務分担表」の管理で業務が一部の職員集中しないよう業務配分・管理されており、同時に OJT ができるような仕組みになっている。次年度は、4 グループに再編し更なる業務効率化・管理体制の強化を図る。</p> <p>教務事務は、従来教務主導で行っていた校内・校外イベント企画・進路データ集計・奨学金関連などを主業務としており教務職員の業務負荷が軽減された。この部署は本校のみ設置されていたため、次年度業務内容はそのまま、組織体制としては事務局に統合される予定。</p> <p>事務組織では、入管業務の担当や生活指導責任者を定めている。</p> <p>入管申請取次者は校長を始め7名おり、随時ビザ更新や入管手続きを行っており、防火防災管理者も本館・別館とそれぞれ1名ずつ消防署の指導の下、設置している。</p> <p>採用制度も管理部によって明確に定められており、職務規定も整備されている。昇進昇格制度も企業レベルで定められており賃金制度も定期的に見直しがされている。現在来年施行に向けて「教員専門職の賃金改定」が人事 G によって進められている。</p>	<p>本校は1300名以上の学生を管理しており、100名を超える教員が指導に当たっており、勤務管理をしている。ISI グループの組織体制はもはや企業レベルではあるものの、非常勤講師の評価制度は整備段階で完璧とはいえなかった。</p> <p>そのため、1月から非常勤講師の待遇・評価方法の見直しを開始し、コマ給の底上げと昇給評価の改定を実施した。次年度よりすべての非常勤講師の授業見学と面談を年間スケジュール化し、人事評価制度に透明性を打ち出した。</p> <p>昨今の日本語業界の「売り手市場」傾向でもわかるように、日本語教師の安定確保と育成は各日本語学校の課題であり、頭の痛いところでもある。しかし、教育の質を落とさないためにも質の高い講師の確保は肝要であり、今回の日本語教師の人事評価制度の改定により改善できるものと期待できる。</p> <p>10月期に初めて大学新卒の専任を採用。2019年入社予定の新卒を5名追加で採用したため、新卒の育成・指導が次年度の課題である。</p>
最終更新日付	2019年3月29日
記載責任者	阿保 京子

2-1 組織体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1-1 設置代表者及び 経営担当は基準要件に 適合しているか	5	設置代表者及び経営担当は 日振協及び入管の基準要件 に適合している	前述のとおり	特になし	入管・日振協提出の教職 員リスト
2-1-2 事業規模に応じ た組織体制になっている か	4	事業規模に応じた組織体制 になっている	本社と学校現場で役割を分 担して行っている	本校は大規模校のため、組織 体制だけでは限界があるた め、学校の規模に合わせた仕 組みづくりが必要。	人事組織図
2-1-3 受入れする学生 の言語対応可能な組織 になっているか	4	受入れする学生の言語対応 可能な組織になっている	中国・韓国・英語・ベトナム 語対応可能な職員が勤務し ているほか、本社にロシア・ スペイン語対応の職員が いる	一部の少数の言語対応（トル コ・ウズベキスタンなど）に は対応できていない。今後は 翻訳機器等の導入を検討す る	人事組織図

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI 日本語学校においては、経営基準や組織体制は企業として一定の水準が 確立されており、教育現場としての組織体制も確立していると言える。よい サービスを顧客に提供するためには、磐石な組織体制が不可欠である。	学校運営においては組織体制も重要だが、大規模校のため人的配置だけでは 限界があり、大規模校に耐えうるシステム作成や効率化が不可欠である。 本年度は業務推進部主導で大きく業務改善と効率化が推進されている。次年 度には新システムを導入予定のため、新システムの機能理解と習得が急務と なる。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

2-2 教員組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 校長、主任教員及び教員は基準要件を備えているか	5	入管で定められた基準要件を満たした教員を採用・配置している。	入管に教員リスト及び履歴書・証明書などを提出している。	経験年数の長い非常勤教員の採用強化を進めたい。	日振協提出書類 入管提出書類
2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	4	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められている	校長及び主任教員に関しては、人事評価の一次、二次評価者としての責務、また稟議などの承認者としての権限が細かく定義されている。非常勤に関してはマニュアル及び人事評価表に職務内容が明記されている。	ISI グループ校の業務基準書の平準化を進めていく。 2019 年度に教職員ガイドブックを作成予定。	非常勤講師マニュアル 職務基準書 人事評価表 AF システム
2-2-3 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	4	職務分掌表で教職員一人一人の職務分掌が明確になっている。	職務分担表をファイルサーバーに保存し、常に確認できるようにしている。	職員の能力だけに頼らず、業務手順マニュアル化でだれでも担当可能にする必要がある。 2019 年度に教職員ガイドブックを作成予定。	職務基準書 業務分掌表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
(株) アイ・エス・アイ全体で組織体制が明確に区分・整備されており、本校も事務局・教務・教務事務の3部門において、職務権限・責務などが明確に定められ、それに従い業務に従事している。	今後採用が増える予定の准専任の職務内容と権限を整備しなければならない。また、業務の平準化を進め個人の能力に頼らず体制的にだれでも業務の担当が可能になるシステムを講じる必要がある。また主任レベルの職員の育成が課題となる。2019 年度に教職員ガイドブックを作成予定。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

2-3 事務組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-3-1 生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められているか	4	各業務の各担当は管理者・作業者に分けて担当者が特定されている。業務マニュアルが用意されているが、まだ全てを網羅しきれていない部分がある	一部業務において、マニュアルが完備されていない業務もある	マニュアル、業務基準書、業務フローを引き続き作成していく。	日振協提出書類 業務マニュアル 電子申請承認ルート 各種業務基準書 業務フロー
2-3-2 各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているか	3	教職員には業務分担表により周知している。学生に対しては、必要に応じて周知されている	教職員に対しては左記の通り。	学生に対する周知は不十分であり、オリエン等での周知を今後検討していく。	業務分担表
2-3-3 入管申請取次者、防火防災管理者を設置しているか	5	入管申請取次者、防火防災管理者を設置している	入管申請取次者講習の受講及び入管への届出の実施。防火防災管理者講習の受講と管轄消防署への届出。	特になし	入管申請取次証 防火防災管理者手帳
2-3-4 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	5	職務分掌と責任がステージごとに明確にされている	人事評価制度により左記が明確に設定されている。	特になし	職務基準書 人事評価表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
各業務の各担当は管理者・作業者に分けて担当者が特定されており、その職務内容は全てではないものの業務マニュアルが整備されつつある。また、入管申請取次者、防火防災管理者の設置もされている。 本社の「業務推進部」において、日本語学校の各業務の職務内容を可視化する作業を進めている	2019 年度の新館開校に向けて事務局の職員採用と防災担当者など業務の再編が必要である

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

阿保 京子

2-4 採用と育成

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 教職員の採用制度は整備されているか	4	教職員の採用制度は整備されている	管理部人事において採用に関する手続きなどしっかり管理されており求める人材などはHPに公開している	大学新卒採用を開始したため、採用条件・研修制度の整備が必要。	HP 採用ページ
2-4-2 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	今年度教職員の退職があり、年間を通して補充のための採用活動が続いた。育成に関しては実施されている	事務局の退職者は2名。教務はなし。 外部研修のほか OJT が計画に沿って実施されている	教職員の離職率を下げるべく、勤務環境の整備、研修制度改善、残業軽減を進める。	人材育成計画（管理部）
2-4-3 人事評価制度は整備されているか	5	人事評価制度は整備されている	今年度は非常勤講師の評価制度を改定。グループ4校の講師手当などを統一	特になし	新人事制度の概要
2-4-4 昇進昇格制度は整備されているか	5	昇進昇格制度は整備されている	昇進昇格制度はグループウェアで社員がいつでも閲覧可能であり、定期的に見直しをしている	特になし	新人事制度の概要
2-4-5 賃金制度は整備されているか	5	賃金制度は整備されている	給与規定はグループウェアで社員がいつでも閲覧可能であり、定期的に見直しをしている	教職員の離職率を下げるべく、賃金規定の整備を専門家と検討。	新人事制度の概要

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI グループの人事評価および賃金制度は労働基準法に遵守した制度となっており、十分整備されている。またグループウェアでも人事規定が閲覧可能となっており透明性がある。今年度は非常勤講師の評価制度が改定された	次年度は専任講師の評価方法も整備する予定
最終更新日付	2019年3月29日
記載責任者	阿保 京子

基準 3 財務

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>設置法人である株式会社アイ・エス・アイはもとより本校においても、安定した学校運営により財務も安定している。</p> <p>毎年予算決算など予実乖離分析報告を計画的に実施しており、予算修正が必要な場合は迅速に対処している。また HP でも取引銀行や資本金を公開している。</p> <p>会計事務所に会計監査を委託しており、適正な収支管理と責任体制が明確になっている。</p>	<p>近年著しい発展を遂げた中国の留学生は昔と違い簡単に留学を諦める者も少なくない。そのため、コース満了前に帰国する留学生が増えている。</p> <p>そのため、在校生の卒業予想が困難になっており、新入生の受け入れ枠の予測と安定した収支計画の妨げとなっている。</p> <p>安定した運営のために、在校生の予想数の精度を上げる必要があると考える。</p>

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

3-1 財務状況

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	5	学校運営の財政の基盤は「学生の納付金・諸手数料」に因るため、学生数に影響されるものの、近年入学希望者は増えており、安定しているといえる	代理店のみならず、窓口でも入学相談を受けており、大きく教室数の変動なく稼働している。	今後の安定した学校運営のために入学者の安定確保と正しい収支計画が課題である。	決算書
3-1-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	本校の予算及び収支計画については、毎年度において有効かつ妥当なものとなっている。	年度予算案の報告のほか、毎月予実乖離分析をしており、収支を明確に把握している。	特に無し	予算案 予実乖離分析報告
3-1-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5	会計監査は適正が行なわれている。	前述のとおり	特に無し	会計監査報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校の財務については、会計監査は専門家によって適正に行なわれており、責任体制も明確である。また監査の実施スケジュールもしっかり構築されている。	特になし

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 4 教育環境

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校は学生の街「高田馬場」にあり、交通アクセスもよく駅から徒歩圏内に校舎をかまえているため、ロケーションとしては適切である。</p> <p>斬新なデザインで清潔感のある校舎は外部業者による毎日 2 回の清掃が行き届いており、入り口の車いすレーンやエレベータ、教室のレールのない引き戸などバリアフリー対策も施工されている。非常口や防火ドアなどの防災対策も整備しており、入管法で定められた学校設備などの基準は適合している。</p> <p>本校では近年 I S I グループ全体の取り組みとして、「ICT 教育」対応の環境整備にも力を入れている。電子黒板やプロジェクターが使用できる教室の増設のほか、ICT 仕様の学習机や椅子も昨年度は 80 脚購入しアクティブラーニング授業に活用している。</p> <p>また校内には自由に使える自習スペースのほか、カフェも設置されており、学生へのサービス向上につながっている。</p> <p>大規模校対策として、事務受付窓口と教務室が本館 1 階と 6 階、別館 1 階に設けることで学生対応が三箇所で開催されており、受付業務や相談窓口が集中しないように工夫されている。</p> <p>1300 名以上の学生が在籍する校舎は防災体制については、設備だけでなく東日本大震災を経験から学んだ防災意識を池袋防災館見学などで外国人留学生にも浸透させている。</p> <p>年末に Wifi の AP 増設工事を施工し、多数の学生が同時使用可能な環境を整備した。</p>	<p>生徒や教職員の健康管理を鑑みて、今年度 10 月より喫煙所を閉鎖し、「館内禁煙」を実施。それに伴い学生の路上喫煙防止対策として次年度よりシルバー人材を見廻り当番として採用予定。</p> <p>春休みに全教室にプロジェクター・PC を設置した。</p> <p>また、それに伴い全教室の演台も交換メンテナンス管理のための管財担当が常駐していないため、共有施設などの修繕・交換などの対応が遅くなり、利用者に不自由させていることは大きな問題として続いており、人員の配置も含め来年度改善していきたい。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

4-1 校地・校舎

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 教育機関として適切な位置環境にあるか	5	教育機関として適切な位置環境にある	高田馬場は早稲田大学・東京富士大学のほか専門学校も多く若者の町で健全な環境と言える。校舎は高田馬場駅から徒歩圏内である。	特になし	HP 学校パンフレット
4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されているか	4	安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されている	校舎が賃貸ではあるが、20年以上安定した運営が継続されており、HPにも校内写真等が公開されている	基準は満たしているが、トイレなど共有施設の改善が必要。	HP 学校パンフレット
4-1-3 校舎面積は基準に適合しているか	5	校舎面積は基準に適合している	日振協及び入国管理局への提出書類に校舎面積や図面が記載されている	学生が自由に使用できるスペースは確保できている。	校舎図面
4-1-4 防災に対する体制は整備されているか	4	防災に対する体制は整備されている	防火・防災管理者によって体制図・避難経路・備蓄が整備されており、年1回の避難訓練が実施されている。AED講習も定期的実施。	体制図・避難経路・備蓄の更新。	消防署の点検資料 避難訓練の実施報告書 防災計画書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
校地・校舎は入国管理局の基準に適合しており、位置環境も含め教育環境は進んでいるといえる。また防災に関しても避難訓練実施や備蓄管理など総合的に体制管理できている。	施設・設備の更新やメンテナンス管理のための管財担当が常駐していないため、修繕・交換などが現場で判断・処理できないことが対応の遅れに影響している。専門要員の配置を検討していく。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

4-2 施設・設備

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 教室・その他施設は基準に適合しているか	4	日振協の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の現地審査に合格している。	施設の定期的な点検を実施する必要がある。	日振協提出書類
4-2-2 教室内は十分な照度があり換気がなされているか	4	照度は問題がないが、換気は十分でない場合がある。	日振協の現地審査に合格しているので基準には適合しているが、換気については教室の位置等によって教室間の差がある。	照明器具や換気設備の定期的点検を行い、教室担当者が窓やドアの開閉を適切に行う。	校舎図面
4-2-3 すべての教室は、教育上必要な遮音性が確保されているか	4	一部を除いて、必要な遮音性が確保されていると判断している。	日振協の現地審査に合格している。	大教室に対応可能な教室の仕切りがパーティションになっているため遮音性が弱いので、より確実な防音対策を引き続き検討する。	特になし
4-2-4 授業時間外に自習できるスペースが十分確保されているか	4	十分な自習スペースが確保されている。	2フロアに1箇所の自習スペースが確保されている。図書室、自習室、リフレッシュルームなど、多様なスペースが確保されている。	学生数に応じ、さらにスペースの確保を検討。	校舎図面
4-2-5 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか	4	図書は基準を満たしている。学生用PC、wi-fi環境が整備されている。	図書：日振協の基準冊数を満たしている 学生用PC：6台 wi-fi環境：全校舎	学生数に応じ、さらに数の確保と環境の整備が必要。2018年度に向けて図書貸し出し制度を整備中。 wi-fi ネットワークも工事済み。	日本語教育関係図書の蔵書目録 Wifi 設置工事見積書&請求書

4-2-6 視聴覚教材やICT教育の設備が整備されているか	4	授業用 PC、電子黒板、プロジェクター、書画カメラ、テレビ、DVD が整備されている。	電子黒板：8台 プロジェクター：全教室 書画カメラ：2台 テレビ：5台 DVD：5台	今年度、全教室にパソコン、プロジェクター設置した。	ICT 設備リスト
4-2-7 教職員の執務に必要なスペースは確保されているか	3	教職員の執務に必要なスペースが確保されていると判断している。	教職員室が3箇所設置されており、出勤人数分のスペースが確保されている。	教職員の増員に応じ、什器の配置、収納スペースの確保等で、さらにスペースを確保。	校舎図面
4-2-8 学生数に応じたトイレが設置されているか	3	建物の基準に応じたトイレは設置されているが、学生数に比べると不足している。	日振協の現地審査には合格しているが、授業の休憩時間が決まっているため、学生使用の時間帯が集中する。	学生数に応じトイレの増設・整備が必要である。来年度の増員時には大目に設置する。	校舎図面
4-2-9 法令上必要な設備等が備えられているか	5	日振協の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の現地審査に合格している。	常に法令と照らし合わせ、確認していく。	日振協提出書類
4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形上であるか	4	日振協の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の現地審査に合格している。また、組織内に衛生委員会があり、建物内の危険箇所を確認し合う機会を設けている。	定期点検や避難訓練を通じ、危険な箇所を継続的に確認する必要がある。	日振協提出書類 校舎図面
4-2-11 バリアフリー対策が施されているか	3	バリアフリー対策が施されている。	エレベーター・スロープ、フルフラット仕様が整備されている。	別館はバリアフリー対策が追いついていないため、対策を検討。	校舎図面

4-2-12 校内の清掃状況は管理が行き届いているか	4	校内の清掃状況は管理が行き届いている。	委託の清掃業者が毎日2度清掃を行っており、年2回の学生満足度アンケートで高評価を得ている。	次年度に向け、清掃委託業務の仕様書を更新する。	学生満足度アンケート結果 清掃業者との契約書
----------------------------	---	---------------------	---	-------------------------	---------------------------

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
施設・設備は日振協の基準に合格しており、教育上の必要性に対応している。施設・整備のメンテナンスは外部業者に委託し、定期的に行っている。また、ICT対応の教育機器の整備も進めているが、今年度はWifi環境改善もできた。	年度末に全教室にプロジェクター・教員用PCを設置したため、教員への使用上の注意やルールなど説明が必要。また複教材として作成したPPT資料の使用マニュアルもさらに充実を図っていく。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 5 安全・危機管理

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>東日本大震災の教訓を受けて、本校は留学生が安心して日本語学習に取り組めるよう、危機管理の見直しを重ねてきた。災害時の危機管理に関しても、行政の方針・指導のもと整備・強化している。学生の健康保険加入の指導や結核発生時の対応などマニュアル化されている。</p> <p>本校は4期制のため、年1回の避難訓練では不十分との声も現場から出てくることを受け、オプションイベントとして池袋消防署内の「防災館」見学を実施しており外国人にも防災意識を高めてもらおうと取り組んでいる。</p> <p>他にも危機管理に対する心構えを職員や学生に周知徹底するべく、災害を想定した避難訓練や職員のAED講習も毎年実施している。防災用品の備蓄も更新を行ったばかりである。</p> <p>危機管理には「人の安全」だけでなく「情報データの安全」も含まれているため、今後被災時の情報管理にも整備が必要であり、本社からの指示のもと、災害時の事業継続対応の計画を進めている。</p> <p>新入生オリエンテーション時には、学生スタートブックの配布の他、「ヘルプカード(英・中・韓・タイ)」と「Life in Tokyo(英・中・韓)」を在校生に配布し安全管理に努めている。</p>	<p>留学生が安心して学習に臨めるような危機管理システムが肝要であり、1300名を超える外国人留学生と70名を超える職員が平日勤務しているため、非常時の対策・対応の時間にスピードが求められる。</p> <p>自然災害時の休校の判断基準・伝達の方法がグループ校や学校の規模で異なり、統一されていないため、平準化あるいは学校長の権限の明確化が課題になっており、現在2018年度に向けて業務推進部で整備が行われている。</p> <p>本校では外国人留学生の増加に伴い2年連続「結核発症者あるいは保菌者」が出ているため、伝染予防対策が急務である。保健所などの行政と東京結核予防会や医療機関など民間団体と連携して学生が健全な留学生活を送れるよう、予防対策を講じる必要がある。</p> <p>国の医療サポートとして国民健康保険加入が留学生にも義務付けられているが、「自分は健康だから大丈夫」と過信する外国人も多く、実際に高額治療が発生した事例などを用いて必要性について理解させ、加入・保険費納付を促すことが重要である。</p> <p>次年度開校の新館の防災管理者の設置を計画している。</p>

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

阿保 京子

5-1 健康・衛生

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 学生の健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	3	保健室と常備薬の設置のほか、毎年新宿区保健所主催の結核健診受診及び校内で検診車を使用した健診を実施している。	前述のとおり	結核予防以外健康診断は任意となっており、将来的には校内で実施が望ましい。	スタートブック 2018
5-1-2 学生全員が適切な健康保険に加入しているか	4	留学ビザ保有者は全員国保に加入させている	入学時に国民健康保険証をコピーし、未加入者に加入するよう指導を行っている。	国内での事故では怪我の治療費だけでなく賠償責任も発生するケースがあるため、国保でカバーできない保険の加入も検討中。	国民健康保険証のコピー
5-1-3 感染症発生時の措置を定めているか	2	結核など法定伝染病が発生した場合の対応については、連携が必要な関係機関の連絡先や報告書が文書化されているが、十分ではない	前述のとおり	業務推進部で発生時の対応マニュアル【業務基準書】を作成。	マニュアル（作成中） 治癒証明書（フォーマット） スタートブック 2018

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
毎年定期的に健康診断を実施しており健康管理の体制は整っているものの、公的機関に依存した健診であり、校内実施のものは補助的なものにとどまっている。国民健康保険の加入は義務づけているが、傷害保険・損害保険などの加入は任意であるため、総括的な支援体制には至っていない。	近年、身体的な問題を抱える学生よりメンタル面のサポートが必要な留学生が増加していることを考えると、受け入れ前の心理面を含む健康状況の確認方法の改善と、心理カウンセラーの配置を含め検討していく必要がある。学生相談窓口など改善項目があり、スタートブック 2019 の内容を春休みに修正済み。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

5-2 危機管理

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 危機管理体制が整備されている	4	危機管理体制は整備されつつある	避難訓練の実施（年1回） AED訓練の実施（年1回） 防災館見学の実施（年数回）	学生数職員数に対して実施回数が少ない。一斉訓練などは何度も行うのが難しいので、小分けに行うなど検討の余地がある。	避難訓練マニュアル スタートブック 2018
5-2-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか	4	避難方法・避難経路・避難場所は定められている	年に1回の避難訓練の際に避難方法や経路、避難場所について確認している。	4期制のため、年1度の避難訓練では十分とは言えず、訓練後入学の学生へのフォローが必須	避難訓練マニュアル スタートブック 2018
5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めているか	4	その時の気象状況に応じて校長が判断。休校か否かは、朝6時の時点で校長が判断しFacebookに掲載。	前述のとおり	学生への周知徹底方法をさらに検討。	特になし スタートブック 2018
5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に実施しているか	5	年に一度、管轄の警察署・消防署・区役所・公園事務所の協力で指定避難場所までの避難訓練及び消火活動体験を実施している。	前述のとおり	実際の災害にどこまで沿った内容で避難訓練を計画するかが課題。	避難訓練マニュアル 実施報告
5-2-5 防災用品が備蓄されているか	3	避難時のヘルメット・脱出用工具・ラジオのほか、災害用の備蓄（水・食料・防寒具）を校内に格納してある。	前述のとおり	期限がくる食品などの処分方法。	防災用品購入リスト 備蓄リスト 消防署実地検査証明

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>3.11 以降、防災用品や食料・水の備蓄を進め、指定避難場所まで全学生を引率しての避難訓練を実施。消防署にもご協力いただき、消火訓練や耐震車による地震体験も行った。危機管理体制は次第に整備されてきているといえる。危機管理に関しては、スタートブック 2018 に主要言語で掲載し学生に周知している</p>	<p>4 期制を取っているため、年 1 回の避難訓練では行き届かない部分もあり、不足する部分をどのように補っていくかが今後の課題。危機管理など一部改善項目があるため、スタートブック 2019 の内容を春休みに修正済み。災害時の初動マニュアルは作成したが、教員への周知が不十分。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

基準 6 法令の順守等

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校は 1984 年に日本語教育振興協会に認可を得て開校以来、「適正な設置基準及び学校運営がされている」と定期的な実地検査でも認められている。</p> <p>個人情報の取り扱いに関しては、ISI グループ全体の重要方針として、「個人情報を適切に取り扱い、保護することが極めて重要である」と深く認識している。</p> <p>そのため、重要書類の保管方法を職員に厳守させ、不要な文書はシュレッダーを利用、定期的な保管文書整理では溶解処分を業者に委託しており徹底した個人情報保護に努めている。</p> <p>また入学時に「個人情報取り扱いに関する同意書」を学生に署名してもらい、学校の学生情報の取り扱いの対策を講じている。</p> <p>自己点検・自己評価に関しては、昨年度初めて実施し、課題点については組織的に改善を試みてきた。自己点検を通し、日ごろの業務・方針などを改めて点検・評価することで課題が浮き彫りになり、ひいては本校の発展につながるものであることを肝に銘じ、今後も真摯に取り組んでいきたい。</p>	<p>個人情報の保護に関しては、対策もさることながら、職員の意識づけが肝要であり、新入社員研修では強化すべき項目と考える。</p> <p>また、学生数の増加により取り扱い方法や保管方法が粗雑になりがちなため、定期的な啓発活動と同時に不定期なチェック体制を導入すべきと考える。</p> <p>現在 SL(スクールリーダー)に膨大な学生の情報がデータ管理されているが、閲覧権限の設定はあるものの、セキュリティ管理の強化が求められる。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

6-1 法令の順守

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 法令、設置基準等の順守と適正な運営がされているか	5	法令、設置基準等の順守と適正な運営がされている	日振協や東京入管の審査基準を遵守しており、検査も通っている。昨年2月に入管に誓約書を提出し告示校として認可されている	新基準に適合しているか見直しが必要。	官報（告示校） 入管提出の誓約書
6-1-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	個人情報保護のための対策は行っているが、不十分な部分もある。	不要な文書はシュレッダーや溶解処分を実施。学籍簿等は全て扉付きキャビネットや金庫にて保管。	扉に鍵を付ける等より厳重な管理を行うことも検討。	特になし
6-1-3 入管・日振協・関係官庁への届け出、報告を滞りなく行っているか	5	届出、報告は滞りなく実施されている。	前述のとおり	入管から新規の届け出事項（50%未満の報告等）が増えているため、今後も漏れのない処理が必要。	受入の開始、終了報告など（入管） 定期報告など（日振協）
6-1-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	昨年度の自己点検結果を基に、可能なものから着手、本社と連携して改善に努めているが、十分とはいえない	前述のとおり	自己点検の継続と今後は問題点の改善にも努める 2019年度は、更なるサービス向上をめざし iso29991 認証取得予定。	自己評価表
6-1-5 自己点検・自己評価の結果は公開しているか	5	2017年度の自己点検はHPに掲載済み	前述のとおり	HP掲載内容を2018年度版に更新予定。 2019年度には第三者評価を実施予定。	HP

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校は法令、設置基準等を順守し、適正な運営がなされているが、自己点検・自己評価の実施と公開においてはまだ1年目であるが、課題が浮き彫りになった。	今回の自己点検・自己評価の定期的な実施により、改善を図っていきたい。

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

阿保 京子

第2 運営に関する事項

基準7 運営全般

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>毎年度初めに、中長期の運営方針と経営目標が設置者より提示された後、日本語学校の運営方針や事業計画を年度初めに発表している。 このように管理運営の諸規定や意思決定システムは整備されており、予算も管理運営されている。</p> <p>とはいえ、社会的な動向や国の政策方針などで学生数も流動的に変化する業界であるため、短期・中期のビジョンの見直しや業務改善を定期的に取り組みながら学校を運営する必要がある。また膨大なデータ情報の管理システムを更新し効率的に学校運営を図らなければならない。</p> <p>納付金に関しては、学生に配布する学則、代理店に配布する募集要項に記載されており、納付期日についても、入学時のオリエンテーションでの説明と年間スケジュールに載せており、学費返金規定も関係諸法令に基づき、学則に記載されているとおりに対応に当たっている。</p> <p>今年度より本社に業務推進・教育推進が設置され、教育面・運営面をサポートしてもらえる環境になっており、学校現場と連携して運営強化ができる体制になった</p> <p>グループウェアの有効活用で情報共有は効率的にできており、外部主催の研修にも参加して入管や行政関連の新情報を入手するようにしている。</p> <p>入学希望者や在籍者に対する情報発信ではHP、パンフレットのほか、言語対応可能なスタッフが常駐している。</p>	<p>本校は ISI 日本語学校の中で最大規模の学校で、2015 年に 1346 名の大規模校と成長し、今後も成長を続けるためには堅固な基盤とシステム化を不可欠である。 教職員が増え、担当セクションが細分化すると意思決定システムも複雑になり、対応の遅れに繋がり、ひいては事故になることも踏まえ、効率的な運営の仕組みを講じなければならない。</p> <p>また組織の中では、単独作業の場合に人的ミスや課題に気づかないまま業務が行われてしまうこともあり、適正な運営維持のためのチェック機能の見直しと管理体制強化の施策を講じなければならない。</p> <p>今年は HP のリニューアルや各言語別のパンフレットの改定など、入学希望者への学校アピールにも力を注いでいるが、まだ十分とはいえなため、今後も企画広報と連携しニーズにこ応える情報発信を続けていきたい。</p> <p>今年度より ISI オリジナルの「学生生活スタートブック（5ヶ国語対応）」と「進路手帳」を在校生に配布した。来年度も内容を更新し、更なる生活指導・進路指導・サポートを充実させる予定</p> <p>また iso29991 の認証取得に向けて、業務サービスの内容を整備する予定</p>

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

7-1 組織的な運営

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか	4	短期及び中長期の運営方針と経営目標は毎年明確化され、教職員に周知されている	中長期に関しては、年度初めに戦略 MAP で明確にし、短期方針に関しては、毎月主任会議で明確にしたものを全体会議で共有している。	特になし	中期ビジョン 戦略 MAP
7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか	4	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている	前述のとおり	学校規模の拡大後も規定が更新されておらず現状に適合していないルールが問題となっているため、業務推進部で平準化を始めている。	特になし
7-1-3 意思決定システムは確立されているか	4	意思決定システムは確立されている	毎週開催の定例会議のほか、主任会議等で重要事項を協議し、校長の承認を得るというシステムがある。	緊急時などの意思決定のスピード化が必要である。	承認ルート表
7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	5	予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である	年度初めに予算表を各学校で提出し本社及び会計事務所で確認している。毎月の入出金なども稟議申請で管理している。	特になし	予算表
7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	4	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている	毎学期業務分担を含め、内容の見直し・効率化を行なっている。	大規模化対応のシステム強化と管理体制の文書化が必要である。 効率化のため、新システムが2019年度に導入予定。	毎学期の業務分掌表
7-1-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システム化等による業務の効率化が図られている	SL やグループウェアの他に勤務管理システムなど様々なシステムを学校業務に活用している。	SL に代わる新システムが2019年度に導入予定。	SL やグループウェア

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>毎月主任レベルの会議を開催し情報共有、問題の早期解決に努めている。 ISI グループでも、毎月日本語学校責任者及び本社幹部と「運営会議」を開催しており、運営状況の報告や相談案件について討議しており、組織的な学校運営をしている。また今年度から日本語学校を支援するために業務推進部、教育推進部が設置され、平準化・改善・整備が開始された。</p>	<p>1300 名以上の学生が在籍している本校では大規模化に耐えうるシステム構築、業務の効率化が急務である。 業務推進部を中心に業務基準書も整備され、ルールなど見える化が進んでいる。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

7-2 納付金

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示されているか	5	納付金額は学則、HP、募集要項に、納付期日は年間スケジュールに明示されている	前述のとおり	特になし	学則 HP 募集要項 年間スケジュール
7-2-2 学費以外に入学後必ず必要になる費用が明示されているか	4	学費以外に必ず必要になる費用は明示されている。	証明書代金は証明書発行依頼書に明記されている。 ビザ更新時に必要な印紙代は在留期間更新許可申請に必要な書類のお知らせに明記されている	特になし	証明書発行依頼書 在留期間更新許可申請に必要な書類のお知らせ スタートブック 2018
7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか	5	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている	学則・スタートブックに返金規定が明記されている。	特になし	学則 募集要項 スタートブック 2018

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学費等、学校で必要な費用は明示されており、返金規定も学則・スタートブックや募集要項に明示され、返金をめぐるトラブルは減少した。また送金の新システム、flywire も導入され、業務推進を中心に学費納付のフローが大きく変更された。	返金規定は新たに学則に明示されるようになったが、職員の解釈に誤解が生じないように様々なケースでの返金を想定し、的確に学生に説明ができるようにする必要がある。特に中国の学生からのニーズも多い学費のカード決済に関して今後検討が肝要である。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

7-3 情報の共有化及び発信

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがあるか	5	外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがある	日振協など外部団体の維持会員となり会報などで情報を入手して業務に反映させている。	2019年度は日振協を退会予定のため、他の団体の所属を検討。	セミナー/研修参加報告書
7-3-2 内部の情報共有を効率的に行う仕組みがあるか	4	内部の情報共有を効率的に行う仕組みがある	グループウェアでの情報共有に加え、毎週事務局会議・教務会議を開催している。緊急性の事案はスカイプやメールで共有している。	特になし	会議議事録 グループウェア
7-3-3 入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっているか	4	入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっている	中国語・韓国語・英語・ベトナム語対応可能なスタッフが事務局に常駐している。また本社にはスペイン語・ロシア語対応の職員もいる。 HPも各主要言語に対応している	一部の言語（トルコ・ウズベキスタン・モンゴルなど）の対応が必要で翻訳機器の導入を検討したい。	HP パンフレット

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
グループウェアの有効活用で情報共有は効率的にできている。また、JaLSAや日振協などの研修・懇話会にも出来る限り出席し入管や行政関連の新情報を入手するようにしている。 入学希望者や在籍者に対する情報発信ではHP、パンフレットのほか、言語対応可能なスタッフが常駐している。	情報発信に関しては、主要言語は十分対応できているものの、英語や日本語が理解できない一部の少数言語の対応も必要になっている。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 8 学生募集

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>東京本部にある海外入学相談センターと大連の直営事務所の2拠点で連携して入学選考、書類審査を行い手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉強意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>常に教育の質的向上を図り、学生の満足度を高めるためには、当校の教育理念を理解し、学習意欲や目的意識が高い学生を募集し、入学後も顧客満足調査結果を真摯に受け止め質的向上を心掛けている。</p> <p>他を寄せ付けない圧倒的な実績を上げることで本校のファン層を作り、安定した入学者数を毎年確保するために職員一丸となって日夜奮闘している。</p> <p>今後は教育カリキュラムと人材育成の成果を関係機関と共有し、学生募集の際適切に発信していく。</p>	<p>近年では早期の修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合もあり、在籍人数の予測が難しくなっている。担当者は入学希望者の募集のタイミングで最新の情報にリストを更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理をすることにより、募集定員の範囲内で安定的な募集活動を行っていく。</p> <p>学生募集では、独自の部署や、海外の募集拠点を持つことによって、実際に起きている教育現場の実態や学生のニーズの変化に遅れることなく、タイムリーに対応していかなくてはならない。募集担当者は常に最新の学校情報の把握に努め、コースやカリキュラムの深い内容理解まで、教職員のコミュニケーションを密に連携していく必要がある。</p>

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

中村 知弘

8-1 募集方針

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入れ方針を定め、年間募集計画を策定しているか	5	多国籍の学習環境提供の方針のもと、国籍バランスを考慮しながらエリアと国別の計画を策定している	前述のとおり	学習者のニーズの多様化に対応し、目的にあった最適な教育環境提供のためには、コースごとの受入れ方針などの設定を検討する必要がある。	事業計画 営業アクションプラン
8-1-2 募集定員の範囲で募集活動を行っているか	5	定員は関連法規に従い、適正に設定されており、その範囲内で募集活動を行っている。 在校生の修了者予測を入学期ごとにエリア別に設定し、募集人数を調整している	「日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書」にて実証済み。	早期修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合があります、在籍人数の予測が年々難しくなっている。 在籍数をリスト化し、入学希望者の募集のタイミングで最新の情報に更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理が必要である。	事業計画 在校生定員予測 日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書
8-1-3 募集担当職員は、学校の情報を正しく認識した上で、入学相談を行っているか	4	入学相談の際、わかりやすく誤解を与えない様発信すべく、定期的なプログラムやコース内容の勉強会を実施している	ファイルサーバー内 学校共有情報のまとめ	教育現場や学生ニーズの変化に対応すべく、募集担当者は常に最新の学校情報の把握し的確に代理店(カウンセラー)に展開していく仕組みが必要である。	学則、募集要項、 学校案内パンフレット他

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
年間募集計画を策定し、定員の範囲内で募集活動を行っている。	受入れ方針の検討や在籍者数の管理が必要で、正しい情報を提供するには、定期的な情報共有や更なる細かいコミュニケーションをとっていく。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	中村 知弘
--------	------------	-------	-------

8-2 募集活動

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 教育内容・教育成果を含む、最新かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語が開示されているか	4	正確な情報を多言語で開示している。(英語・簡体字・繁体字・韓国語・西語・露語・ポルトガル語・タイ語・フランス語) パンフレットにより、モンゴル語、インドネシア語・タイ語で開示している。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	教育成果の公表は、主に出口実績のみの公表となっているため、今後はさらなる情報開示を検討していきたい。多言語への翻訳に伴う情報発信の遅延、および内容の検証については外部委託を検討中。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-2 求める学生像を明示しているか	5	ホームページおよび募集要項・ISIの理念・教育方針でアドミッションポリシーを明示している	ホームページ 募集要項		学校ホームページ 募集要項
8-2-3 応募資格及び条件を、入学希望者の理解できる言語で明示しているか	4	募集要項にて、各言語で明示している。	募集要項	主要言語では明記しているが、その他の言語では丁寧な説明が必要である。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を順守した募集活動を行っているか	3	企業理念に則り、法令遵守を徹底している。	前述のとおり	市場の拡大に伴い提携先代理店数も増えてきており、海外の代理店が当校をどのように紹介しているか、詳細の確認をされていない国もあり、そのあたりの今後の徹底は課題である。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット

8-2-5 海外の代理店等に、最新かつ正確な情報提供を行っているか	4	最新情報はホームページやパンフレットやチラシによって提供し、定期的な出張訪問やSkype等で直接説明を行っている	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	営業支援システムの導入に伴い、定期的に情報発信が可能となったが、多言語化での対応に時間を要する。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-6 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか	3	新規エリアや全代理店の募集活動の把握は難しいが、海外代理店の行う募集の契約条件の内容を確認している。	出張計画・報告（出張報告・訪問記録）	定期訪問と担当者との密なコミュニケーションにより把握していく。	出張報告書、代理店コミュニケーション管理

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を分け隔てなく世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>中国(大連)に直営事務所を開設し、東京には独自の部署を持ち、東京と大連を拠点に入学選考を一括して行っている。入学希望者から提出された書類は、入学相談センターおよび大連事務所で協力して審査し、手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>入学希望者に配布する募集要項では入学条件を明記しており、ホームページでは学校の教育成果、留学している学生のリアルな姿として、在校生の成長の過程や卒業生の進路や活躍を学内に掲示し、またWebサイトやSNSで発信することで、国内はもちろん、海外からでも十分に学校生活をイメージでき、入学後のミスマッチが起らないように心がけている。</p>	<p>8-2-3:受入れ学生の主要言語では情報を明示しているが、その他の言語では誤解がないよう丁寧な説明が必要である。</p> <p>8-2-6:海外の代理店や教育機関の取引数が多いため、全ての情報の確認が難しいのが現実的にある。情報が古いままであったり、間違った情報が流出しないよう、定期的に代理店に説明し、代理店のホームページや営業資料を確認していく必要がある。</p>

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	中村 知弘
--------	------------	-------	-------

8-3 入学選考

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 入学選考基準及び方法が明示されているか	5	選考基準を募集要項で明記している	前述の通り		募集要項 ホームページ
8-3-2 学生情報を正確に把握し、提出書類により信憑性の確認を行っているか	4	共有の営業支援ツールおよびファイルサーバーに入学選考に関するデータベースを保存し、提出書類は複数のスタッフで母国語も含め確認を行っている	前述の通り	対応できない言語では日本語の翻訳の添付をつけさせ、現地での公証をさせている。	
8-3-3 入学選考を行う体制が整備されているか	5	入学希望者とは母国語または英語でのコミュニケーションを取り、専属スタッフが入学選考を行っている	前述の通り	日本での大学進学資格に必要な12年教育制度ではない国からの希望者には準備教育が提供できない。	
8-3-4 受け入れるコースの教育内容が、志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	4	各種媒体における就職、資格取得等の教育成果に関する情報公開は、また不足していると思われる	前述の通り	就職、資格取得等の教育成果に関する情報の媒体別掲載内容、情報量などの適正な取り扱いについて、社会情勢、環境を考慮して検討する。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生選考は現地に赴いての直接面接やSkypeを用いた面接を行い、学校の基準にのっとり必ず学校職員が行っている。これら面接の結果と提出された申請書類から総合的に入学選考をするため、学生の目的意識を第一に、支弁能力、勉学意欲を中心に基準を設けている。その後も現地と密に連絡・訪問を繰り返し、安心して入学できるようサポートを継続している。特に中国には現地事務所を置き、より綿密に入学希望者、保護者とコミュニケーションができるようにしている。また共有のサーバーに入学選考に関するデータを保存し、入学選考に関する情報を正確に把握している。</p>	<p>特に東京では入学希望者が多いため、入学選考には細心の注意を払っている。書類審査では経費支弁能力があるかどうか厳格に審査し、筆記試験では授業についていける学力があるかどうか適正かつ公平な基準で選考している。面接では志望理由が明確かどうか、願書や履歴書など記載内容お相違がないかを確認し、書類の信憑性と希望者本人の勉学意欲両方をみている。不法滞在や不法残留を多く発生させている国については、特に厳格な選考基準を設け、質の高い学生の確保に努めている。</p>

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

中村 知弘

基準 9 教育活動

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>昨今日本に来る留学生数は国策の後押しもあり増加の一途をたどっているが、受け入れ側として「品質の保持」に努めている。</p> <p>日本語学校の使命は留学生が希望している進路（出口）まで指導及びサポートをすることであり、語学力の養成はもとより大学や専門学校あるいは企業の求める人材育成であると考え。その考えは、「私たちはグローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と交際社会の発展に貢献します」という ISI 理念にも明確にされている。</p> <p>いかなる留学目的の学生でも満足していただけるようなクラス作り・コース運営を理想として本校は授業・サービスを提供している。例えば、一流大学合格を目標とした「特進クラス」、JLPT 対策、コミュニケーション能力向上、キャリアサポートなど目的別で学習できる「選択授業」など通常授業で補えない学習の機会を提供している。授業内容に関する相談・苦情についても教務主任が状況を判断し適切に対処している。</p> <p>入学時はインタビューと筆記試験により学生一人一人の進路希望とレベルを確認し、初級から超級クラスまで必ず学習者のレベルに適合したクラスで学習できる環境になっている。今後はオンラインによるプレースメントテストとインタビューを事前に実施し、クラス分けの制度を高めていくことを目指す。</p> <p>授業は教育内容に応じて教材を決め、電子黒板やプロジェクターを使用した ICT 教育の本格導入に向け準備を始めており、電子黒板の有効活用や学習効果を高めるための勉強会も定期的に開催し非常勤講師に啓発している。年度末には Wifi 環境改善のため、ネットワーク増設を施工した。</p> <p>成績判定方法については、2019 年度に判定基準の整備と卒業認定も見直し予定</p>	<p>2018 年度にむけてカリキュラムポリシーを整備している。本校のコース設定は理念・教育目標に合致した仕組みではあるが、学生のニーズの多様化に伴い、JLPT 新基準など外部試験のレベル設定だけでは対応が難しくなっている。その問題の解決案として、昨年度より CEFR の評価指標と JLPT・EJU などを連動したカリキュラム再編に向けてグループ校でも取り組みを始めており評価方法の見直しも課題となった。とはいえ、一流大学においては留学生の人間性やコミュニケーション力以上に高い日本語力（知識）が要求されていることは周知の事実である。</p> <p>今後、多様化に合わせクラス編成も大きく変える必要も出てくると考えている。2018 年度は中級以上のクラスで進路目的別編成を実施し目的別のシラバスでの授業設定を試みた。今後はシラバスの内容の精査に取り組んでいく。</p> <p>年 2 回の学生満足度アンケートで授業評価を実施しており、アンケート内容・実施方法も毎年見直すなどして改善に努めている。</p> <p>教育力向上に努めているが、100 名以上の指導経験も様々な教師陣の授業の質の平準化が課題となっている。そのため、非常勤マニュアルのほか、本校では計画的な「研修システム」を昨年度より導入しており、年間スケジュールに沿って、レベル別指導研修と担任研修など特殊研修も含めた研修会を定期的に開催している。</p>

最終更新日付

2019 年 3 月 29 日

記載責任者

阿保 京子

9-1 教育計画

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	4	理念・教育目標に合致したコース設定が行われている	会社の理念に則り、グローバル人材育成のためのコース設定がされている	学生のニーズの変化に合わせて、コースの見直しを定期的に行う必要がある。 学生生活スタートブックに2019年度に掲載予定。	学校案内パンフレット ホームページ
9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進捗設計がなされているか	4	教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進捗設計がなされている	学生のニーズに応じたコース設定とレベルに応じた40以上のクラス設定がなされている	学生のニーズの変化に合わせて、教育内容の見直しを定期的に行う必要がある。 学生生活スタートブックに2019年度に掲載予定。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-3 レベル設定に当たっては、国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか	4	国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている	JLPT 新基準をベースにしてレベル設定を行っている	JLPT 新基準の他に、CEFRなどの枠組みを取り入れたレベル設定を検討中 学生生活スタートブックに2019年度に掲載予定。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-4 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	4	教員間で共通理解が得られている	定期的に研修を行い、指導マニュアルを作成して周知している	経験の少ない若手教員の育成が必要。	研修資料 指導マニュアル
9-1-5 カリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムは体系的に編成されている	学習目的に合わせて、JLPT の新基準も踏まえつつ、初級から上級まで体系的に整備されている	初級から超級まで一貫したカリキュラムの整備を執行中。	学校案内パンフレット 年間カリキュラム

9-1-6 教育目標に合致した教材は選定されているか	4	教育目標に合致した教材が選定されている	コースの目的に沿って、教務で十分に検証された教材を選定しており、教材変更は導入計画をたてて行っている	教材情報を定期的に更新し、学生のニーズに合った教材選定を常に行っている	学校案内パンフレット
9-1-7 補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	3	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにし、著作権法に留意しているが、周知徹底は充分とは言えない	著作権法に抵触する教材の使用は認めていないが、全教員共通のルールは未作成である	教員全体に注意を促すルール策定が必要。教職員ガイドブックに基本ルールは記載予定。 2019年度にコンプライアンスに基づき整備予定。	特になし
9-1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示しているか	4	授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示している	学習リソース・情報は研修時や学期初めに担当教員に提示し、共有している	100名を超える教員に漏れなく提示できているか、常に確認が必要である。 2019年度にコンプライアンスに基づき整備予定。	指導マニュアル
9-1-9 教員配置が適切になされているか	4	教員配置が適切になされている	全教員の指導歴を把握し、指導可能なレベルに配置している	定期的に研修を行い、全教員の指導歴を記録していく。 2019年度の新館の教員配置が課題。	タイムテーブル 教員リスト

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
教育目標に合致したカリキュラムは、常に見直しと改定が必要であり、毎年部分的に実施している。100名を超える教員に対し、適切な教育方法の提示と配置が行えるよう、継続的な研修とリスト化を行っている。	時代や学生のニーズに合わせ、適切なカリキュラムや教材で授業が行えるよう整備を行っているが、時間とマンパワーが不足している実状がある。また、著作権法についてのルール策定は優先的課題となっている。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

9-2 実施

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 授業開始までに学生の能力を筆記試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	4	適切なクラス編成を行っている	入学時に全学生に対し、レベル別に測れる筆記試験と面接を実施し、客観的な評価により適切なクラス編成を行っている。 1月期にオンライン試験をトライアル。	オンラインテスト（プレメン）の定期的な改定を継続中。また、学生のクラス変更希望に対する対応方法は今後検討の余地がある。	プレイスメントテスト オンラインテスト記録 面接シート
9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか	4	必要な情報を伝達している	クラス担任には、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴などを伝達している。定期的に進路希望調査も実施している。	クラス担任だけでなく、クラス担当教師全員に対し漏れなく情報共有が行えるよう、入学時の学生情報のデータ化を検討する。	プレイスメントテスト 進路調査票
9-2-3 決定したシラバスによって授業が行われているか	4	決定したシラバスによって授業が行われている	決定したシラバスによってカリキュラムを作成しており、それをもとにスケジュールを作成している	学生のニーズの変化に合わせて、シラバスの見直しを定期的に行う必要がある。	年間スケジュール レベル別スケジュール スケジュール
9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか	4	修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されている	学生規則にコース修了の要件が明記されており、オリエンテーションで確認されている。 学生生活スタートブックには卒業認定の規定を掲載。	2018年度配布の学生生活スタートブックには卒業認定の規定を掲載。	学生規則 学生生活スタートブック

9-2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用しているか	4	教育内容に応じて教育用機器を活用している	教育内容に応じ CD、DVD、電子黒板、PC などの教育用機器が活用できるよう、使用方法を周知し、管理している年度末に全教室にプロジェクター設置。	教育用機器がさらに活用できるように、機器の補充と研修を行っていく。 2019 年度は全教室の PC 設置予定。	教育用機器使用マニュアル 教育用機器リスト
9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	5	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している	クラスごとに授業記録簿と出席簿を毎日記入し、所定の場所で管理し、職員が閲覧できる状態になっている。	記入方法のルールを定期的に職員間で確認する。 次年度導入予定の新システムの使い方を研修中。	出席簿 授業記録簿
9-2-7 理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われているか	4	理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われている	スケジュールに組み込まれたアチーブメントテストと定期テストにより、理解度・到達度を確認している。 テストは共通のものを使用し、フォルダー内に保管されている。	テストの改定を定期的に行っていく。 また、到達度の確認方法の妥当性を検討中。	アチーブメントテスト 定期テスト
9-2-8 学生の自己評価を把握しているか	3	満足度アンケート結果において、学生の自己評価を行っている	年 2 回実施している満足度アンケートに、自己評価の項目がある。	クラス内での自己評価の実施方法の検討要。	満足度アンケート結果
9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	3	進路指導や授業内容のキャッチアップは、クラス担任が担当している	クラス担任、副担任が特定されている。	個別な学習支援を行うシステムは確定されておらず、授業進度についていくことが困難な学生の支援は不十分である。	タイムテーブル
9-2-10 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか	2	進路指導に関しては助言を受ける環境があるが、精神的な支援については助言を受ける環境はない	留学生活において経済的・精神的な支援を必要とする学生が増えているが、教員や事務職員のカウンセリングにとどまっている。	スクールカウンセラーなどの配置を検討する必要がある。	特になし

9-2-11 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	4	担当者が特定され、適切に対処している	クレーム対応の担当者が特定されており、適切に対応できている。さらに対応内容が個別指導表に記録され、職員に共有されている。	適切に対応するための OJT の実施と、職員間の情報共有に漏れがないようにすることが必要である。	学生指導内容報告カード 業務分担表
9-2-12 学習内容、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点と、相談担当者が分かる文書を入学時に学生に配布しているか	3	一部の項目を除き、配布している	入学時に配布する学生規則の中で、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点については明記されている。	詳細な学習内容については配布ができていないので、要検討。	学生規則 学校紹介パンフレット 学生生活スタートブック
9-2-13 留学生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布しているか	4	留学生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布している	入学時に言語別の学則配布・PPT を使用しオリエンテーションを実施している 2018 年度から「学生生活スタートブック」を配布。	一部の言語（トルコ・モンゴル等）対応ができていない 次年度に向けて記載内容を改善予定。	学則 警視庁発行の生活情報誌
9-2-14 JLPT、EJU の指導体制はあるか	4	JLPT、EJU の指導体制は整っている	選択授業において、左記の試験対策のための授業を実施しており、結果もデータ管理している。 ISI 提携塾を紹介している。	教員に対する指導方法の研修を定期的に行っていく。 中国人以外の塾対応が検討事項。	選択授業スケジュール JLPT、EJU 結果データ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
1000 名を超える学生の管理が行き届くよう、出席簿、授業記録、オリエンテーション、プレイスメントテストなどは年々改定を行い、実施も徹底されている。精神的な支援を求める学生の増加など近年新しい問題が生まれ、大規模校としての対応が課題となっている。	学生のクラス分け、到達度評価、苦情処理などがきめ細やかに行えるよう、マニュアルの整備と教職員のスキル向上の取り組みが必要である。また、現教職員では対応できない学生支援のために、心理カウンセラーなどの配置の検討が急務である。

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

9-3 成績判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	5	判定基準及び判定方法が明確に定められている	日振協に成績判定基準を報告し、この基準に則った成績入力フォーマットを全てのクラスで使用している。	教師間に判定基準及び判定方法を漏れなく共有していくことが必要である。	日振協提出書類 成績入力フォーマット 成績証明書 成績表
9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	4	成績判定結果は学生に伝えられている	期末テストや模擬試験等のテスト結果は、学生に伝達されている。判定結果は成績表として毎期学生に発行している。	今後は携帯電話による成績確認が可能なシステムに移行予定。 成績F Bの実施を漏れなく行うことが必要。	成績表
9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	3	検証している	システムの改定に伴い検証を行った。	グループ校で判定基準を定め2018年度より新基準にて卒業判定を実施予定。	成績システムの入力フォーマット

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
I S I グループ校共通の判定基準があり、入力フォーマット、成績入力システムが整備されている。2016年度までは、希望する学生には学期末の成績を開示したが、今年度より毎期の成績表をクラスで配布し、F Bも実施している	2018年度から新基準で卒業判定を実施。今後も内容精査を継続。 2019年度は成績開示をスマホなどのできるシステムに移行予定

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

9-4 授業評価

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 授業評価を定期的に実施しているか	3	契約更新対象者は授業見学も実施し、人事評価を行い、面談を通じてFBを行っている	非常勤講師の定期研修のシステムがあり、授業評価を行っている。また、人事評価表と個別面談により評価を行っている。	2018年度に「人事考課」の内容を改定。全教員の授業見学と主任面談の上、昇給・昇格を検討した。	研修スケジュール表 人事評価表 報酬制度の骨子 授業見学評価表
9-4-2 評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されているか	4	評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されている	人事評価表の項目に従い、契約書に記載されている人事評価を基に適切に実施されている。	2018年度に「人事考課」の内容を改定。全教員の授業見学と主任面談の上、昇給・昇格を検討した。来年度教員の報酬制度を再度見直し。	人事評価表 研修評価表 授業評価
9-4-3 学生による授業評価を定期的に実施しているか	5	学生による授業評価を定期的に実施している	年2回全クラス、全職員を対象に実施している。	授業評価のアンケート項目及び実施時期を2018年度に改定。	学生満足度アンケート 授業評価
9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか	4	評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている	学生アンケートを基に各教員に結果のフィードバックを行い、必要に応じた研修を実施している。	フィードバックや研修頻度を上げていく。	学生満足度アンケート 研修予定表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学生による授業評価は年に2回の満足度調査で行っており、内容も定期的に見直している。教員による授業評価は研修や人事評価を通して行っており、今年度から更新時期に校長や主任による非常勤講師の授業見学も計画的に実施。	教員間で授業見学を行い、授業を直接評価するなど、見える化を推進しているが、スキル向上につながるための評価体制見直しが必要である。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 10 学生支援

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>日本語学校の使命として「進学」サポートのみならず「生活面」のサポートも挙げられる。他にも行政・健康面など様々な側面から留学生支援をしなければならない。</p> <p>そのために、本校では事務・教務でそれぞれ学生のニーズに様々な支援計画を整備している。そのために、年 2 回実施する「学生満足度アンケート」で学生の不満や問題点を抽出して改善に努めており、KPI にも満足度 80 ポイント以上獲得が毎年達成目標として掲げられている。</p> <p>事務局においては、入学時に各国語によるオリエンテーションを実施して生活面・入管法など留学生活に支障がないようサポートしている。来年度からオリエンテーションのアバター使用をトライアル予定。効率化を目指す。</p> <p>経済面のサポートとしては、アルバイト指導として面接練習や履歴書指導を定期的に行っており、住居面では直営寮や賃貸物件の紹介も行っている。毎年新宿区の結核検診に加え校内でも検診を実施しており、学生の健康管理も強化している。</p> <p>3 か月に一度実施する「学生個人情報調査」で留学生の生活の実態を把握し不法残留・不法就労をさせぬよう管理を徹底している。</p> <p>教務においては、進路担当者、年間の進路指導計画に沿って、進路指導を実施している。</p> <p>学生に進路に関する情報を提供すべく校内進学説明会を開催し、外部の進学相談会への動員にも意欲的に取り組んでいる。</p> <p>本校では、定期的な進路面談と「進路調査表」で進路希望を把握し、担任がしっかり学生の進路希望を把握してサポートしている。</p>	<p>入学時のオリエンテーションでは、PPT を使用し、ビジュアル的に日本のルールや生活マナーを指導しているが、対応言語が限られており、ウズベキスタン・トルコ・アラビア語など一部の少数の言語の対応が追いついていない。学生数が多いため、基本的に休日の学生対応が実現していないので、安全管理面では大きな課題である。</p> <p>今年度初めて生活で必要な情報・学校規則などを各言語で記載した「学生生活スタートブック」を配布。同時に「ISI 学生用防災カード」も各国語版で配布した。</p> <p>進路指導面では、進路指導担当が特定されている。特に、今年は下半期に 1 名進路に特化した業務担当の職員を採用し来年度に向けて、業務の整備を行っている。マニュアルも整備されているが、大規模のため一人の常勤が 80 名以上の進路指導を担当しなければならないと、手厚い指導ができているとは言えない。そのため、塾と提携して、進路指導サポート充実も検討している。</p> <p>進路サポートに関しては、今年から「進路手帳」を作成し、進学・就職希望者に配布しており、進路スケジュールや面接マナーなど自主的に学べるように工夫しているが、将来的には「進路指導室」という独立したセクションで「進路カウンセラー」の設置が肝要と思われる。</p>

最終更新日付	2019 年 3 月 29 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

10-1 支援体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	3	学生支援計画を策定し、支援体制が整備されている	全クラス担任、副担任制を導入し、年に4回個別面談を実施している。事務局では各言語対応できる体制を整え、有効に機能している。 アルバイトを希望する学生に対し、履歴書指導を行っている。	学生数が多いので、手薄にならないようより充実した支援体制を取ることが課題。	学生指導内容報告カード 個人情報調査票 履歴書指導資料
10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応はできているか	2	緊急時には必要に応じた対応を行っている	緊急時には主に担任から上長に連絡が入る。	休日の緊急連絡体制は今後さらに検討していく。 「ISI 学生用防災カード」を各国語版で配布。	特になし

* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
日本語学校にとって、留学生の支援体制の整備は語学指導の次に重要なミッションと受け止めている。留學生活のサポートを通して見えてくる情報は学生管理にも役立つと考えており、情報提供のために Facebook・HP・広報誌発行をはじめ、学生情報のデータ管理システムを確立し、卒業までサポートできる環境づくりに取り組んでいる。	学生数の増加と多国籍化により、支援スタイルの改革が求められている。また、緊急時には必要に応じて対応を行っているものの、休日の対応については十分とは言えず、「ISI 学生用防災カード」を各国語版で配布。2019年度は Cam-J という新システム導入予定で、学生サポートに活用したい

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか	5	每期入学時に新入生オリエンテーションを対応言語のPPTと通訳で実施している。遅れて入学した学生にも個別に実施している。	前述のとおり	一部の少数言語が未対。 学生生活スタートブックを全校生徒に配布。学校規則のほか入管法なども各国語掲載。	年間スケジュール オリエンPPT 学生生活スタートブック
10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施しているか	4	オリエンテーションで各国語版のPPTと学生生活スタートブックを使って説明している。また、外部団体による生活マナー講座を定期開催	前述のとおり。 日振協主催の国籍別オリエンテーションにも参加。	居住地によって異なるルールなどの説明ができない。	オリエン時配布資料 学生生活スタートブック 翻訳版PPT資料
10-2-3 地域の国際交流や、地域活動に参加しているか	3	授業に支障がない程度に地域の国際交流や、地域活動に参加している	新宿区や中央区など地域団体主催の季節イベントや文化イベントをOPとして紹介し引率・参加している。	今後も新宿区のイベント情報などこまめに学生に配信しOPイベントとして紹介したい。	
10-2-4 地域社会に貢献する活動は行っているか	2	地域社会に貢献する活動は行っていないが、路上喫煙者のチェックを毎日交替で見回りしている	前述のとおり	日本事情の造詣を深め、地域の貢献と社会性を育むためにボランティア活動の実施を計画したい。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学時のオリエンテーションは対応言語を用いて新入生が確実に日本のマナーや規律について理解し生活に適応できるよう配慮している。またオリエンテーションの実施には外部団体にも協力してもらうことで、早くから日本社会と接する機会を提供している。	高田馬場にも町内会があり、地域に密着したイベントや活動に留学生を参加させたいという気持ちがあるが、まずは外国人に対する地域の理解を求めながら関係構築から始めたい。
最終更新日付	2019年3月29日
記載責任者	阿保 京子

10-3 生活面における支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 住居支援を行っているか	4	直営寮のほか、提携寮も通学圏内に所有しているほか、賃貸業者による校内相談会を定期的実施	前述のとおり	学生の増加に寮の入居可能数が追いつかない。	HP 募集要項
10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	3	アルバイト求人の案内・説明会のほか、履歴書の書き方指導や面接練習を実施している。	前述のとおり	特になし	履歴書指導PPT アルバイト指導計画 アルバイト履歴書の書き方マニュアル
10-3-3 交通事故等の相談体制が整備されているか	3	交通事故等の相談体制が整備されている。	設置者（株式会社アイ・エス・アイ）の顧問弁護士に相談できる体制になっており、校長も学生の保護者の代理として対応している	自転車事故では加害者になるケースもあり、傷害保険加入も検討の余地あり。	
10-3-4 定期的に健康診断を実施しているか	3	毎年新宿区主催の結核健診受診及び校内で検診車を使用した健診を1回実施している。	前述のとおり	随時入学される短期生の健康診断の実施は徹底が難しい。	特になし
10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査しているか	5	3ヶ月に1回「学生個人情報調査」を実施しており、住所・アルバイト・同居人などを更新して、同時にデータ管理もしている。	前述のとおり	次年度は新システムにデータ移行。	学生個人情報調査表 SL

10-3-6 その調査結果に対する裏付け確認は適正に行っているか	2	必要に応じて調査結果に対する裏付け確認を適正に行っている。	在留カードのチェックやアルバイト先への勤務状況の確認電話のほか、同居人の確認をしている。 必要があれば代理店にも協力を依頼している。	日常業務に追われ全校生徒のアルバイト先への確認ができていないが、進路面談時に個別に確認している。	学生個人情報調査表
----------------------------------	---	-------------------------------	---	--	-----------

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生が日本で安定した留学生活を送るためには、住居・健康管理・アルバイトなど多方面にわたる生活環境の保障が不可欠であり、学生管理の安定につながるため、健康診断の受診や状況把握のための生活調査実施など事務局・教務が連携して計画的に取り組んでいる。2018年度は本社の業務推進・教育推進の連携もあり、学生支援の強化に取り組んでいる。</p>	<p>疾病・怪我などは国保加入で対応できているが、事故対応までカバーできないため、自転車事故の罰則も厳しくなっている現状を踏まえ民間の傷害保険加入も検討の余地あり。</p>

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

10-4 進路に関する支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-4-1 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか	3	進路指導担当グループが特定され、このグループの指示のもとに時期ごとに学生指導を行っている。	大学院・大学・専門学校・就職に担当を細分化し、外部の関係機関への対応や進学情報の収集、発信を行っている。	本校は進学希望が多いため、進路サポート従事のための職員を次年度は出向で採用予定。	業務分担表
10-4-2 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか	3	学生との面談を通じて進路希望を把握し、指導担当者間で情報を共有している	進路調査、進路面談を定期的に行い、時系列で書かれた学生ごとの記録を文書で保管し、担当者すべてが閲覧できる。	キャリアスUCというシステムで進路指導の管理を導入したが、教務で使いこなせていない。	進路調査票 キャリアスUC
10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか	4	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	図書室の一部、掲示板を進路資料スペースとし、学校案内等を自由に閲覧、持ち出しできる。 6Fに進路相談ブースも増設	今年度は6階に進路資料のための専用本棚と相談スペースを設置。	大学・専門学校の募集要項・入学案内の専用本棚 進路相談ブース
10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っているか	4	個々の学生の進路希望や学習状況は、進路調査票に集約されており、担当者が変更となっても入学時から一貫した進路指導が行えている。	入学時期に合わせ、定期的に学生と個人面談を実施し、学生の進路希望を把握し、担当者が変わっても必要に応じた指導を行っている。	初級レベルの学生の進路指導体制に改善の余地がある。 2018年度進路手帳（各国語）を配布予定。	進路情報シート
10-4-5 EJU、JLPT、BJT等の受験指導体制は整っているか	4	EJUの日本語と、JLPTの各レベルの対策については授業カリキュラムに組み込まれており、受験指導体制は整っている。	左記の対策の他に、学校で願書の購入受付、出願指導を行い、進路に合わせた試験の受験も促している。	BJT 対策授業の開講等も検討の余地がある。	年間試験スケジュール

10-4-6 大学学内試験対策の指導体制は整っているか	2	大学学内試験対策の随時、行っているが、まだ指導体制が完全に整っているとまでは評価できない。	一部の進学対策クラスや試験対策クラス内で実施しているが、全進学クラス内では実施できていない。	収集した大学学内試験がまだ分析、整理されておらず、教務として統一的な試験対策の方法が確立されていない。2018年度は授業計画に取り込む予定。	授業カリキュラム
10-4-7 受験時、就職時の面談指導の体制は整っているか	3	各クラスの担任が責任をもって担当クラスの学生の面談指導を行っている他、就職希望者には就職クラス内で面接指導を行っている。	学校で作成した各種面接質問シートに基づき実施している。	就職希望者への面接指導方法が確立しているとは言えず、専任間で共有されていない。2018年度は教育推進部で体制の見直しを行う予定。	面接質問練習シート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学生の進路志望の多様化に応じるべく、入学から卒業まで一貫した進路指導体制の整備と指導者間の情報共有に努めている。また、EJU・JLPTの試験対策授業だけでなく、出願指導にも力を入れている。最新の進学資料を備え、学生が自主的に情報を得られる環境づくりを目指している。	学生数の増加により、現在の個人別進路指導データの管理に限界が生じているため、データベース管理の促進が大きな課題である。キャリアスUCを導入したが、就職に特化したシステムのため、進学希望者への運用が課題。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-5-1 研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられているか	4	研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられている。	日振協協議会、交付に係る入管説明会等に参加し、最新情報の収集および部署内での情報共有を行っている。	2019年度は日振協を退会予定のため、他の団体への加入を検討。	研修、協議会等参加報告レポート
10-5-2 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っているか	4	入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っている。	入学時のオリエンテーションを各国言語で実施。その他適宜校内掲示や配布物でも各国言語で伝達・指導を行っている。 ビザ更新時に適宜入管法について必要に応じて説明している。	ビザ更新後、半年交付の出席不良者リストを作成し、卒業まで一元管理し、不法滞在を未然に防いだ。今年は入管法も掲載した学生生活スタートブックを配布。	オリエンテーションPPT 資格外活動の際の注意事項 在留カード携帯義務（校内掲示物） 学生生活スタートブック
10-5-3 在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理しているか	4	在留期限、一時帰国、修了者・退学者の進路等、在留に関する学生の最新情報を把握管理している。	SLによる在留期限の管理。一時帰国者には一時帰国届出書により出国者の管理を行っている。修了者、卒業者の進路により、帰国確認の実施やビザ変更者の追跡確認、進学者の入学許可書の入手を行い管理している。	学生数が多く、卒業時など大量に学生が学校を離脱する際の確認作業が困難だったが、帰国確認のフローを整備し、かなり改善できた。	在留資格期間更新者リスト 退学者リスト 一時帰国届出書 出国時のチケットコピー
10-5-4 在留上問題のある学生、及び問題になりえる学生の指導を個別に行っているか	4	出席不良者をはじめ、問題のある学生及び問題になりえる学生に関して個別面談を実施している。 また面談内容を電子記録で保存している	事務局主導で学生面談を実施。カウンセリングのプロセスに沿って実施、記録している。必要があれば代理店にも協力を依頼している。	学生面談のフローを整備し、段階的に指導できる仕組みを構築。 また、「事故・事件報告書」をグループ内で共有する仕組みを業務推進で構築。	学生指導内容報告カード 学生生活スタートブック

10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っているか	4	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っている。	入学時のオリエンテーション実施。 段階的な個別面談の仕組みと事務局主体で管理している。今年は警視庁主催の外国人犯罪に関する勉強会を実施。	システムで管理できるような仕組みが必要。	学生指導内容報告カード 職員会議議事録 学生生活スタートブック 警視庁主催の勉強会 外国人在留マニュアル (警視庁勉強会時に配布)
10-5-6 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか	3	完全にゼロではないものの、入管より3%未満の適正校通知を受けている。	前述のとおり	システムで管理できるような仕組みが必要。	入管適正校通知
10-5-7 除籍、退学、修了、卒業で帰国予定となった学生の帰国確認を適時行い、それら出国確認の書類を適正に管理しているか	5	帰国確認の実施と帰国確認書類の管理を実施している。	修了、卒業時に証書とともに帰国後の案内を配布、説明している。学生帰国後にメールでリマインドを実施。その他電話確認、入管HPでの在留カード失効情報照会も活用。	卒業生数が600名以上と多く、例年取りこぼしがあったが、今年度は帰国確認の手順・担当を整備したことでかなり改善がみられた。	帰国後のご案内 パスポート出国印、穴の開いた在留カードコピー(写真) 退学者リスト 退学願

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>入国、在留関係に関する指導に関しては、最も教職員が注力している業務の一つとなっている。問題が起きる前にカウンセリングを重ねる指導を行い、常に最新の在留関係情報を得るため、協議会や研修に参加している。また、学生の入退学(卒業)の管理を適切に行い、適宜入管や日振協に受入報告や在籍者報告を実施している。今年度から生活情報や規則などを盛り込んだ冊子「学生生活スタートブック」を在校生に配布し、ルールなど徹底指導した。</p>	<p>入管からの指導要求も厳しくなっているため、問題のある学生を漏らさず指導できるようなシステム構築や、効率の良い学生管理の方法の考案が肝要である。</p>

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 1 1 教育成果

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>現在本校では、期末試験テストや JLPT 模擬試験などで学習者の成績の向上度を把握し、EJU など外部試験結果のデータ管理によって、授業カリキュラムに反映している。しかし、ISI 独自のデータ管理システムがないため、今年度は外部試験の結果と合格校との連動データ表の開発が事業計画に盛り込まれた。毎年のデータを蓄積することで S ランクの大学合格に必要な EJU のスコアや J L P T のレベルが見える化し、進路指導に役立てることができ、進学率向上を目指す。</p> <p>卒業時も卒業試験や進路結果によって適切な修了判定をしているが、見える化・平準化をもとに、成績判定基準や卒業認定について、整備中である。</p> <p>卒業生においては、卒業後の連絡先を退学届に記入、SL で管理しており、帰国確認やビザ変更確認をおこなっている。</p>	<p>卒業時に適切な修了判定をしているが、近年学習者の卒業後の進路が多様化しており、数値化された修了判定方法の見直しの検討の余地がある。その原因は以前に比べ、大学進学以外に就職希望の学生も増えており日本語能力だけでなく社会適応力や人間性も求められるようになったことである。そのため、今年度は成績判定・卒業認定について整備を進め、来年度は詳しく「学生生活スタートブック」に記載し、見える化・平準化を推進する予定。</p> <p>カリキュラムに関しては、言語知識を高めるだけの従来のカリキュラムでは測ることのできない「国際力」「人間力」を高めるために、グローバル社会で通用できる人材を育成するカリキュラムやシラバスの再構築が肝要となっている。</p> <p>また、卒業生のその後の就職先や活躍の状況がわかる仕組みがないため、「同窓会組織」など、在校生だけでなく卒業生のネットワークの整備が求められている。</p>

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

阿保 京子

11-1 成果の判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-1-1 進路及び卒業・ 修了判定が適切に行わ れているか	4	適切に行われている。	卒業・修了判定に関して2018 年度は判定基準の見直しを 実施した。 成績表は紙面で学生に配布 している。	卒業・修了判定に関して2019 年度は施行予定。 成績もスマホ閲覧可能にす る予定。	期末テスト結果 成績表 修了届け 卒業・修了証
11-1-2 EJU、JLPT 等 の外部試験結果を把握 し、適切に管理されて いるか	4	適切に管理されている。	試験結果データは、そのつど 学生から回収コピーの上、デ ータ入力して保管している。 また受験生の進学先と外部 試験結果の連動データを作 成しており、進路指導に役立 てている。	データベースでの管理は問 題ないが、回収したコピーの 管理方法に関しては改善の 余地がある。 2019 年度よりオンライン団 体出願に切り替え、受験者の 一括管理を予定。	EJU・JLPT 成績結果デ ータ

* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学試験の可否・入学許可証の有無、内定通知書、帰国チケットなど、卒業 判定に必要な書類を漏れなく回収している。また、外部試験の願書、受験票、 結果は全学生から回収し、保管している。	試験結果の数字はデータ管理しているが、結果票のコピーでの保管には限界 があるので、保管方法には改善の余地がある。同じく、合格通知・入学許可 証、内定通知書、帰国チケットなど、卒業判定に必要な書類のデータベース 管理も一考すべきである。

最終更新日付

2019年3月29日

記載責任者

阿保 京子

11-2 卒業生の状況の把握

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-2-1 卒業生の状況を把握するための取組みを行っているか	4	卒業生の卒業直後の状況を把握するための取組みを行っている。	卒業後の連絡先を把握し、必要に応じて帰国確認やビザ変更確認を行っている。	卒業の出口の把握はできているが、その後の就職先などを後追いでできていない。同窓会名簿など仕組みが肝要である。	進路データ
11-2-2 卒業後の進路を把握しているか	4	卒業後の進路を把握している。	退学届で卒業後の進路を確認し、入学許可書・雇用契約書・帰国チケット等を文書で保管し、全学生の進路を把握している。	一部卒業までに進路が決定しない学生の管理システムの対策を講じる必要がある。	退学届 入学許可書・雇用契約書・帰国チケット 進路データ
11-2-3 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	2	在校生の社会的活躍及び評価は把握しているが、卒業生の活躍や評価については一部学生との交流で把握できているケースもあるが、全体はできていない。	機関紙 GLOBER に活躍している卒業生の特集記事を連載している。 また、博士課程の卒業生に「進路ガイダンス」でスピーチを依頼している	卒業生の活躍を把握するための仕組みがなく一部の状況しか把握できていないので、同窓会組織等の整備が必要である。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
卒業生の卒業直後の進路先や帰国状況の把握は、卒業判定とも合わせてほぼ実行できている。しかし、卒業後の動向や最終的な就職先などを後追いする仕組みは確立されていない。また、同窓会などは組織されていない。	卒業の出口の把握はできているが、その後の就職先などを後追いでできていないので、同窓会名簿などの整備を通じて、国際的に活躍する卒業生と在校生のパイプをつなげる改善策が必要である。本校は学生数も多いため、同窓会の取りまとめはグループ校でまとめるべきと考える。

最終更新日付	2019年3月29日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

「出入国及び難民認定法」内の日本語教育機関の告示基準の改定により、日本語教育機関の「学校評価」が義務化されたことを受け、教育の質保証・向上に資するという観点から本校においても「学校自己点検・自己評価報告書」を作成した。

平成30年度の報告書に関しては、平成29年度と同様に日本語教育振興協会の「日本語学校における学校評価ガイドライン」を参考に学内に設けた委員会で議論を重ねた結果、以上の通り自己点検・自己評価報告書を作成した。

ISIランゲージスクール自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

平成31年4月

ISIランゲージスクール 自己点検・自己評価委員会

校長	阿保 京子
副事務局長	東野 梓
教務主任	岡部 かおり
教務主任	堀 奈津子
教務主任	村田 智子
事務局主任	橋本 裕子
事務局	張 碩
海外入学相談センター	中村 知弘